



【大畑 眞（おおはた まこと）】

メディアサウンドデザインコース他 専任講師

埼玉大学教育学部音楽専修卒業後、東京藝術大学音楽学部作曲科を首席で卒業。卒業時にアカンサス音楽賞を受賞。2024年、同大学院音楽研究科を修了。これまでに作曲及び作曲理論を鈴木静哉、小鍛冶邦隆、望月京の各氏に師事。

令和元年度東京藝術大学「宮田亮平奨学金」奨学生。令和2年度東京藝術大学「長谷川良夫賞」受賞。第32回芥川也寸志サントリー作曲賞に《JINK》がノミネート、杉山洋一指揮・新日本フィルハーモニー交響楽団により演奏され、聴衆から高い評価を受けた（SFA総選挙得票率48%）。2023年、いわてA.I.R事業にてアーティスト・イン・レジデンスに採用。

伝統的な民衆芸能を取材し、それらを素材とした作品を多数発表しており、音楽・アートにおけるローカルティを今日的視点から捉え直す活動をしている。また、近年はキーボーディストとして様々なジャンルのミュージシャンと共演するほか、アーティストのサポート、即興演奏ライブの開催、コンテンポラリー・ダンスとのコラボレーションなど多岐に渡って精力的に活動している。

現在、東京都立総合芸術高等学校講師。